

ダイワ／ミレーアセット亜細亜株式ファンド 設定後の運用状況について

2016年2月10日

平素は、「ダイワ／ミレーアセット亜細亜株式ファンド」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。
当ファンドの運用状況について、お知らせいたします。

《基準価額・純資産の推移》

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

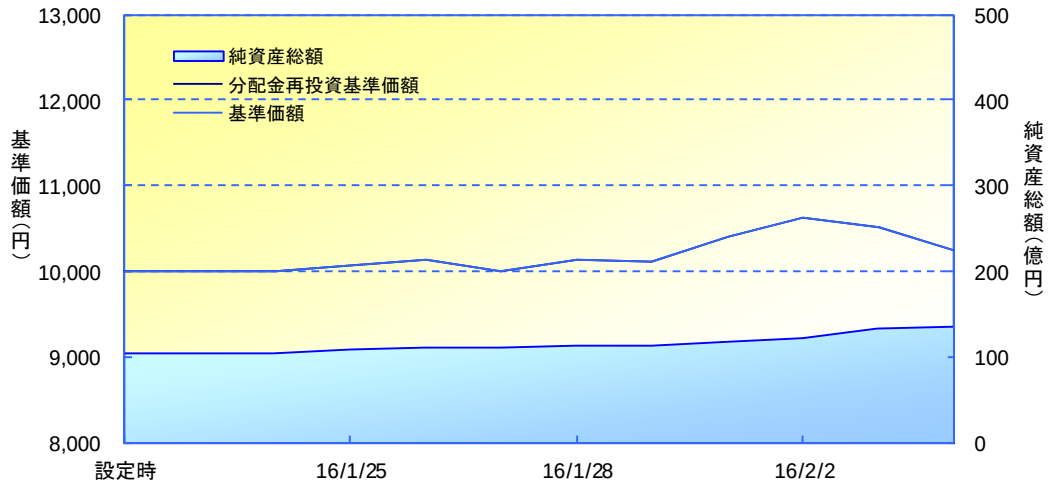
当初設定日(2016年1月21日)～2016年2月4日

2016年2月4日現在

基準価額	10,240 円
純資産総額	136億円

期間別騰落率

期間	ファンド
1カ月間	-----
3カ月間	-----
6カ月間	-----
1年間	-----
3年間	-----
5年間	-----
年初来	-----
設定来	+2.4 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応当日までとし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

《ミレーアセット・ネクスト・アジア・パシフィック・エクイティ・ファンド(円クラス)の資産構成》

※比率は、純資産総額に対するものです。

※以下の資産構成は、ミレーアセット・グローバル・インベストメンツ(香港) リミテッドの提供するデータを基に大和投資信託が作成したものです。

国・地域別構成		合計93.6%	通貨別構成		合計93.6%	業種別構成		合計92.6%
国・地域名	比率		通貨名	比率		業種名	比率	
日本	49.1%		日本円	49.1%		一般消費財・サービス	23.6%	
中国	17.4%		米ドル	10.8%		生活必需品	16.1%	
インド	6.6%		香港ドル	8.6%		ヘルスケア	14.3%	
韓国	4.7%		インド・ルピー	5.8%		資本財・サービス	12.7%	
オーストラリア	4.5%		韓国ウォン	4.7%		情報技術	10.9%	
タイ	2.5%		豪ドル	4.5%		金融	9.5%	
香港	2.3%		タイ・バーツ	2.5%		素材	5.3%	
フィリピン	2.0%		人民元	2.4%				
インドネシア	2.0%		フィリピン・ペソ	2.0%				
その他	2.7%		その他	3.3%				

※「国・地域別構成」の分類は、ミレーアセット・グローバル・インベストメンツ(香港) リミテッドの定義に基づきます。

※通貨別構成は株式ポートフォリオに対するものです。

※業種別構成はETFを除いた比率です。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しの「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

組入上位10銘柄

銘柄名	業種名	国・地域名	比率	合計26.2%
テンセント・ホールディングス	情報技術	中国	4.0%	
シスメックス	ヘルスケア	日本	3.2%	
マツダ	一般消費財・サービス	日本	2.7%	
カシオ計算機	一般消費財・サービス	日本	2.5%	
JDドットコム	一般消費財・サービス	中国	2.5%	
日本電産	資本財・サービス	日本	2.4%	
ピンアン・インシュアランス	金融	中国	2.4%	
ビジョン	生活必需品	日本	2.3%	
AIAグループ	金融	香港	2.3%	
ユニバーサルロビナ	生活必需品	フィリピン	2.0%	

※業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準（GICS）によるものです。

※組入ファンドの資産構成は基準価額への反映を考慮し、現地前営業日のデータを記載しています。

＜ファンドマネージャーのコメント＞

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

※ミレーアセット・グローバル・インベストメンツ(香港) リミテッドのコメントを基に大和投資信託が作成したものです。

＜市場環境＞

(アジア・オセアニア株)

設定以降のアジア・オセアニア株式市場は、ECB(欧州中央銀行)総裁が追加緩和に言及したことや、人民元安がいったん落ち着いたこと、日銀によるマイナス金利導入の発表などが相場を下支えし、底堅く推移しました。

設定以降の為替市場では、原油価格の反発や、日銀によるマイナス金利導入の発表などを受けて、新興国からの資金流出懸念が弱まったことで、アジア・オセアニア通貨は対円で総じて堅調に推移しました。

(日本株)

設定以降の日本株式市場では、ECB総裁が追加緩和を示唆したことや、ロシアとOPEC(石油輸出国機構)の協調減産観測で原油価格が反発したこと、日銀がマイナス金利の導入を発表したことなどから、株価は上昇に転じました。

＜運用経過・戦略＞

日本とアジア・オセアニア地域のアセット・アロケーション比率は、共同運用先であるミレーアセット社とのファンド委員会において決定しています。両社による定量・定性分析に基づき、ファンド全体に占める投資比率は、アジア・オセアニア株を44%程度、日本株を49%、キャッシュを6%程度としました。当ファンドの参考指数であるMSCI AC アジア・パシフィック指数においては日本株の構成比率が43%程度であり、それと比較すると、日本株をオーバーウエートとしています。

日本株をオーバーウエートとしたことにつきましては、定量分析においてアナリスト予想や業績の成長性などが他の地域に比べ優位であったこと、定性分析において堅調な企業業績や雇用・所得環境の改善、政府による景気対策、政治の安定性など、日本株を取り巻く良好な環境を評価し、投資比率を決定しました。なお、投資比率は今後のファンド委員会の決定により変わることがあります。

(アジア・オセアニア株)

アジア・オセアニア株では、トップレベルのマーケットシェアや優れた市場開拓力、独自の技術・開発力、高い経営の質を有している、アジア・ワン企業に投資しました。国別では、中長期的に消費拡大が期待される中国の比率を高位としました。一方で、資源価格が低迷していることを考慮して、オーストラリアの比率を低位としました。

(日本株)

アジアにおける高いマーケットシェアやシェア拡大の潜在力、独自の技術力・開発力、優れた市場の開拓力、高い経営能力など、中長期的な視点に軸足を置いた銘柄選別を行いました。特に、新興国の中期的な消費拡大の恩恵を受けると期待される消費財関連などの企業の業績成長に注目し、一般消費財サービスや生活必需品セクターなどをオーバーウエートとし、国際的な金融規制強化の影響が懸念される金融セクターなどをアンダーウエートとしました。

＜市場見通しおよび今後の運用方針＞

(アジア・オセアニア株)

中国の景気減速懸念や原油などの資源価格の動向に左右される展開が続くものと思われます。しかし、中長期的には、中国政府による景気刺激策に加え、欧州や日本における金融緩和政策などが支援材料になり、底堅い値動きを予想します。

当ファンドでは、ミレーアセット社による独自のスコアリングやボトムアップ・アプローチにより、アジアの成長の恩恵を享受することで、持続的な利益成長の実現が期待される銘柄に投資してまいります。当面は、中国の株式市場に左右される展開を想定しますが、バリュエーションに着目しながら財務体質が強固で安定した利益成長が予想される銘柄への投資機会を探ってまいります。国別では、中長期的な消費拡大から恩恵を受ける中国に投資妙味があると考えます。個別銘柄では、IT(情報技術)関連や、オンライン小売関連、旅行関連、保険関連などに投資妙味があると考えます。

(日本株)

設定後、日銀の追加緩和の発表により国内市場は反発しましたが、中国の株安および人民元安や原油価格の下落、地政学リスクの高まりなど懸念材料は多く残っており、短期的には一進一退の展開を想定します。ただし、国内経済については、堅調な企業業績や雇用・所得環境の改善が継続しており、設備投資にも回復の兆しが見られ、これらを背景として国内株式市場も中期的には底堅く推移していくと想定します。

個別銘柄につきましては、外部環境の変動が激しい局面においても業績が安定している消費財関連株に注目し投資を行います。また、日本、米国、欧州の金融政策や中国の政策動向次第では、相場全体や物色動向が大きく変化する可能性も考慮し、機動的な対応を心掛けます。

以上

ダイワ／ミレーアセット亜細亜株式ファンド

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

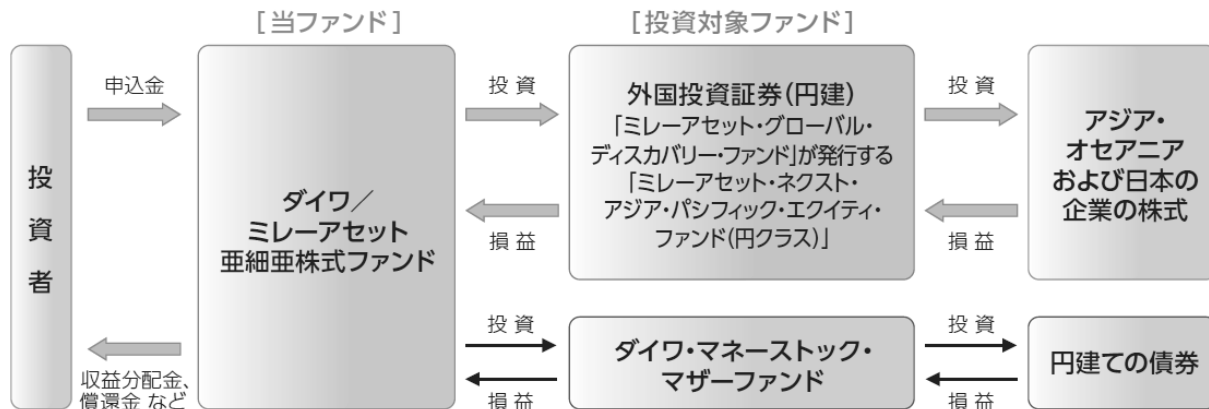
ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- アジア・オセアニアおよび日本のアジア・ワン企業の株式に投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. アジア・オセアニアおよび日本のアジア・ワン企業の株式に投資します。
 - アジア・ワン企業とは、トップレベルのマーケットシェア、優れた市場開拓力、独自の技術・開発力、高い経営の質を有しており、アジアの成長の恩恵を享受することで、持続的な利益成長の実現が期待される企業をいいます。
2. ミレーアセット社と大和投資信託で連携して運用を行ないます。
 - アジア・オセアニアの株式の運用はミレーアセット社が、日本の株式の運用は大和投資信託が、それぞれ行ないます。
 - アジア・オセアニアの株式と日本の株式の比率は、ミレーアセット社と大和投資信託で構成されるファンド委員会により決定します。
3. 当ファンドは、以下の2本の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。
 - 外国投資証券を通じて、アジア・オセアニアおよび日本の企業の株式に投資します。



※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク、信用リスク）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ダイワ／ミレーアセット亜細亜株式ファンド

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉3.24%（税抜3.0%）	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 （信託報酬）	年率 1.2204% （税抜 1.13%）	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。
投資対象とする 投資信託証券	年率 0.74%程度	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する 運用管理費用	年率 1.9604%（税込）程度	
その他の費用・ 手数料	（注）	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。 ※投資対象国によっては、ファンドが株式への投資によって得た配当金に対して課税される場合があります。

（注）「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

- ※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。
- ※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
- ※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」に記載しています。

販売会社:

大和証券

Daiwa Securities

商号等

大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会

日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用:

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等

大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第352号

加入協会

一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会